

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、631件（127種類）であり、このうち件数の多かったものは、「T P P（環太平洋連携協定）交渉参加への反対に関する請願」73件、「子ども・子育て新システムを導入しないことに関する請願」27件、「尖閣諸島を始め我が領土領海を守るための法制度確立に関する請願」27件、「保育・幼児教育・子育て支援・学童保育施策の拡充に関する請願」27件、「尖閣諸島を始め我が領土領海を守ることに係る請願」27件などであった。

各委員会及び憲法審査会の付託件数は、内閣44件、総務7件、法務36件、外交防衛144件、財政金融105件、文教科学23件、厚生労働118件、農林水産14件、経済産業81件、国土交通27件、環境6件、沖縄・北方1件、倫理選挙6件、消費者問題1件、震災復興6件、憲法12件であった。

なお、消費者問題に付託された請願1件は取り下げられた。

請願者の総数は305万6,907人に上っている。

請願書の紹介提出期限は、11月25日の議院運営委員会理事会において、会期終了日7日前の12月2日までと決定された。

12月9日、各委員会及び憲法審査会において請願の審査が行われ、「軽油引取税の免税措置恒久化実現に関する請願」外14件（3委員会4種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで同日の本会議において、委員会決定のとおり15件の請願が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は2.4%であり、種類別による採択率は（採択数／付託数）は3.2%であつた。